

代表質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	19分	嘉陽 宗儀(共産党)	知事
質 問 要 旨			
1	<p>県議選挙の結果について</p> <p>(1) 知事の選挙結果に関するコメントについて</p> <p>ア 「知事に対する審判が下された」という内容は具体的には何についてか。</p> <p>イ 野党多数の議席は県民が何を求めて下した審判だと考えるか。</p> <p>(2) 後期高齢者医療制度に対する怒りが爆発したが、知事はその怒りの内容についてどう受けとめていますか。知事として、その県民の怒りに対する対応を考えていますか。即時廃止を求めるべきではないか。</p> <p>(3) 自民・公明政権によって作り出された「貧困と格差」の問題は、とりわけ県民の間で深刻になっています。その実態を掌握していますか。貧困を強いられていることに対する県民の怒りをどう受けとめ、解決するつもりですか。</p> <p>(4) 福祉の切り捨ても県民生活の各分野に及び、その救済を求める声が大きくなっています。知事としての対処策を伺います。</p> <p>ア 生活保護行政で受給申請が急増し、申請書類の交付さえ窓口で拒否される事実がある。直ちに改善すること。</p> <p>イ 国保会計に対する県補助を行い、負担の軽減を図ること。</p> <p>ウ 医療費の中学校卒業までの無料化を行うこと。</p> <p>(5) 「行財政改革」による県民生活への影響も深刻となっており、その破壊も進んでいます。その実態について明らかにしてください。</p> <p>(6) 日米両政府は県議選挙の結果は、米軍再編による新基地押しつけに何の影響もないと繰り返し表明していますが、その見解を知事はどう思いますか。</p> <p>(7) 県民の意思は明確に新基地建設反対、基地の県内たらい回し反対である。民意に従って知事もこの際、基地の県内移設反対を表明すべきではないか。</p>		
2	<p>ヤンバルの森林伐採について</p> <p>(1) 現在の林道建設の実態とこの10年間の林道建設で伐採した面積は幾らか。今後の林道建設の計画と伐採面積、その必要性について明らかにせよ。</p> <p>(2) この10年間の森林整備事業による、森林の伐採面積と造林面積は幾らか。どのような樹木を伐採し、何を植林したか。同じく、林業としての売上額は幾らで、投資された補助金などの総額は幾らか。</p> <p>(3) ヤンバルの自然を「世界自然遺産に登録」を求める声が国際的にも大きく広がっている。森林伐採はこの声を無視し、貴重なヤンバルの自然を破壊して進められている。その実態についてどう認識しているか見解を求める。</p> <p>(4) ヤンバルの森は貴重な生物多様性の豊富な地域である。県は絶滅危惧種など貴重な生物たちにどのような配慮で事業を進めているか。これまでの工事でどのような影響が出ているか、実態を掌握しているか。</p> <p>(5) 森林法や全国森林計画は、沖縄の自然は固有の動植物が生息しているので開発行為を厳しく制限をしている。それを無視して進めている、ヤンバルの自然を破壊している北部地域森林計画に基づく林道工事と森林の伐採・皆伐を直ちに中止すること。</p>		

3 泡瀬干潟の埋立工事について

- (1) 埋立工事の進捗状況はどうなっているか。
- (2) 沖縄市長は事業計画を見直すために、従来の計画は白紙に戻したが、事実を掌握しているか。
- (3) 埋め立ての事業計画がないままの埋立工事は違法だと考えるが、それでも工事だけはトカゲハゼの繁殖期さえ無視して行うという異常事態が強行されているが、その理由は何か。
- (4) 貴重な生き物たちの貴重な宝庫である泡瀬干潟の埋立工事は中止して豊かな干潟の自然を守れ。

4 非正規雇用職員の問題について

- (1) 県庁組織内の教育庁も含む非正規雇用の実態はどうなっているか。各部局別の実態を明らかにせよ。
- (2) 非正規雇用職員を正規雇用にすると予算はどうなるか。
- (3) 非正規雇用職員の生活を守るために正規雇用にするべきだ、決意を伺う。
- (4) 県内企業における非正規雇用職員の实態について把握しているか。改善を申し入れるべきではないか。

5 福祉問題について

(1) 子育て支援事業について

- ア 病児・病後児保育事業の再編に伴う補助金対応額は幾らか。
- イ 病児・病後児保育事業を継続して実施するために、現在実施中の地域子育て支援拠点事業の予算を削減して確保するというのはどういうことか。
- ウ 予算を削減されたら、これまでの子育て支援事業に支障は出てこないのか。
- エ 出生率の高い沖縄では子育て支援事業をもっと重視すべきではないか。

6 教育問題について

- (1) 全国学力テストの結果とその取り扱いについて
- (2) 30人学級実現の方針について説明せよ。
- (3) 教科書検定意見書の撤回を改めて求めるべきだと考えるが、決意を伺う。
- (4) 「集団自決」を演じる小学生の劇に抗議が行われ、中止を求める圧力が報じられたが、断じて許されない。知事の所見を伺う。

7 知事の政治姿勢について

(1) 原油価格の急激な高騰による県民生活への影響について

- ア 原油価格の急激な高騰によって、県民生活の各分野に深刻な打撃を与えている。その実態を調査し、掌握しているか。
- イ 知事として、どのような対策をとっているか具体的に説明せよ。

(2) 普天間基地の危険性の除去について

- ア 爆音訴訟の判決に対する所見を伺う。
- イ 知事の「普天間基地移設は3年閉鎖が前提」という公約の期限が迫ってきている。知事の努力で危険性の除去、県民の負担が軽減、改善されたという実績はありますか。

ウ 普天間基地の辺野古への移設の見通しはどうなっていますか。知事の見解は日米両政府に相手にされていません。県内移設にこだわっているのは、結局、危険性の除去はいつまでも実現できないと考えるが、所見を伺う。

代表質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	19分	金城 勉(公明県民会議)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	基地問題について		
	(1) 普天間訴訟判決について、知事の見解を伺う。		
	(2) 地位協定の見直しについて、今後の取り組みはどうか。また、訪米の可能性、時期についてはどうか。		
	(3) 嘉手納基地周辺の防音工事エリアの見直しの進捗状況はどうか。		
	(4) 爆音被害公平補償問題への対応について		
	(5) 旧日本軍飛行場用地問題について		
2	沖縄21世紀ビジョンについて		
	(1) ビジョンづくりへの議論の進捗状況はどうか。		
	(2) 道州制について		
	ア 道州制導入の意義をどう認識しているか。		
	イ 県民議論をどう展開していくか。		
	ウ 県から市町村への権限委譲の状況はどうか。		
	(3) 財政課題の克服方法について		
	ア 県財政の中期見通し(平成19年度版)については、予想どおり推移しているか否か。		
	イ 税制研究会での議論の進捗状況はどうか。		
	ウ 新税導入の可能性はどうか。		
	(4) NPO法人が、アジアを視野に入れた白血病治療の「臍帯血大規模移植センター」を沖縄に誘致する構想を持っている。県として連携しながら支援する考えはどうか。		
3	福祉・医療行政について		
	(1) 後期高齢者医療制度について		
	ア なぜ従来の老人保険制度を見直ししなければいけなかったのか、問題点は何か。		
	イ 新制度導入の背景、目的は何か。		
	ウ 政府・与党の見直し案の内容について御説明ください。また、適用後の県内における軽減状況はどうか。		
	エ 見直し案実施に際して新たに生じる財政負担について、地方に負担を転嫁しないよう、国に要請すべきだと思うがどうか。		
	オ 後期高齢者医療制度実施に際し、県のかかわりが見えないとの指摘があるが、広域連合と県とのかかわりはどうか。		
	カ 今後の県民への周知、広報活動についてどう取り組むか。		
	(2) 健康・長寿県づくりについて		

- ア 「沖縄県医療費適正化計画」の中には、平成24年度から療養病床削減の再編計画実施がうたわれています。そのとき、懸念されるのは、行き場を失う医療難民や介護難民のことです。療養病床削減による受け皿をどうつくるのか、具体的に御説明ください。
 - イ 長寿県・沖縄の地位が危ないと指摘されております。本腰を入れた県民運動を起こさなくてはいけないと思うのですが、これからの取り組みについて御説明ください。
 - ウ 県民の医療費について、全国との比較を御説明下さい。（高齢者、若年者別に）
 - エ 介護職員の確保と待遇問題について、介護の支え手の待遇改善と地位向上が求められておりますが、県内の状況と県の取り組みについて御説明ください。
- (3) 女性政策について
- ア 子宮頸がん検診の受診項目について、これまでの検診内容とHPV（ヒトパピローマウイルス）検診の採用について
 - イ 子宮頸がんの受診率向上への取り組みについて
 - ウ 子宮頸がんの予防ワクチンの早期承認の政府要請について
 - エ マンモグラフィ検診の実績と啓蒙活動の取り組みについて
- (4) ジェネリック医薬品（後発医薬品）の啓蒙促進について
- ア 県内におけるジェネリック医薬品の使用状況について県は把握しているか。
 - イ 厚生労働省の使用促進の方針を県はどのように取り組んでいるか。
 - ウ 使用促進を進めるに当たっての課題はどうか。
- (5) 保育行政について
- ア 認可外保育園の認可促進の状況と待機児童数について
 - イ 認可外園への給食費助成の拡大について、次年度の方針はどうか。
 - ウ 児童福祉法第24条の「保育に欠ける」条項撤廃について、国に要請すべきではないか。
 - エ 「沖縄県次世代育成支援行動計画」、いわゆる「子ども・子育て応援プラン」の進捗状況が思わしくない。目標の達成状況と今後の見通しについて御説明ください。
 - オ 病児・病後児保育への補助金について、県の負担分が低過ぎるため事業実施が困難との声があるが、今後の県の対応について御説明ください。
- (6) 北部医師会病院によるドクターヘリ存続について、国と連携し支援すべきではないか。
- (7) 脳脊髄液減少症について
- ア 県内で脳脊髄液減少症の治療をしている医療機関はどこか。
 - イ その医療機関を県のホームページで紹介し、「脳脊髄液減少症患者・家族支援協会」ともリンクして関係者に情報提供してはどうか。
- (8) 人工内耳機器への助成について、保険適用を国に要請したかどうか、また、結果はどうか。
- 4 教育行政について
- (1) ネット上でのいじめの実態はどうか、学校裏サイトの県内の実態はどうか。

- (2) 出会い系サイトによる児童生徒の利用実態や被害実態はどうか、また、フィルタリングなど、その対策はどうか。
 - (3) G8 科学技術大臣会合の沖縄開催の成果はどうか。
 - (4) インターナショナル・スクール開設準備状況と県民子弟への開放について、設置形態をどのように検討したか。
 - (5) 小中高校の校舎の耐震化調査結果を踏まえて、今後の対応はどうか。
- 5 文化環境行政について
- (1) 国際アジア音楽祭について
 - (2) 公共関与管理型産廃最終処分場の進捗状況について
- 6 観光商工行政について
- (1) 那覇空港滑走路増設の見通しはどうか。
 - (2) 平成20年度の観光客誘致目標と取り組みについて
 - (3) 観光人材の育成策はどうか。
 - (4) 若年者雇用対策について
- ア 沖縄労働局の「08年度沖縄雇用施策実施方針」で若年者雇用促進奨励金の実施方針の効果と県としての取り組みについて
- (5) マザーズサロンの中部への設置、活用状況はどうか。
- 7 土建行政について
- (1) 改正建築基準法の影響は改善されたか、実績はどうか。
 - (2) 公共工事の資材価格高騰分の補填（スライド条項）はどうか。
 - (3) 中城湾港新港地区の護岸工事（前原から浜屋まで）の取り組みはどうか。
- 8 農水産行政について
- (1) モズク価格安定化策について伺います。
 - (2) 養殖漁業の振興策について
 - (3) 漁業の後継者育成について
 - (4) 原油価格高騰が農水産業に及ぼす影響と支援策について
- 9 警察関連について
- (1) 沖縄警察署移転先について
- 10 その他
- (1) ポスター条例の遵守について

代表質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	15分	上里 直司(民主党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	知事の政治姿勢について		
(1)	沖縄の自治について		
ア	沖縄の自治をかち取る上で必要な法律、税財源は何か。		
イ	道州制の議論に先駆けて制度の要求、実現を図る考えはないか。		
(2)	基地問題について		
ア	3年以内閉鎖という知事公約は実現できるのか。		
イ	稲嶺県政8年間で移設ができなかったその理由と総括について伺う。		
ウ	辺野古新基地移設協議において国との意見相違は何か。国との協議が合意に至らない場合中止も検討すべきではないか。		
(3)	地位協定について		
	民主、社民、国民新党3党による日米地位協定案についての知事の見解を問う。また、その後出された地位協定を見直すべきでないという政府の発言について見解を伺う。		
(4)	米軍再編について		
ア	北朝鮮における核開発中止表明に伴い、米国がテロ支援国家リストから外す手続に着手した。激変する東アジア情勢において、県は緊張緩和が進むと見ているのか。また、そうであれば米軍、とりわけすべての海兵隊撤退を強く要求すべきではないか。		
(5)	平和への貢献について		
	下地島空港を緊急援助隊や国連の「人間の安全保障センター」などを誘致することで、平和利用を進めることによって、平和への貢献を図れないか。		
2	福祉行政について		
(1)	後期高齢者医療制度について		
ア	制度移行によって県民全体の負担はどのようになったのか。		
イ	政府の見直し策はいつから実施されるのか。		
ウ	本県の事情にかんがみて国へ支援を求める必要があるのではないか。		
エ	本制度導入によって人間ドック補助事業を廃止した県内市町村の数。また、県が補助を行うことによって75歳以上の人間ドック補助を復活させる考えはないか。		
3	土木行政について		
(1)	道路行政について		
ア	本県の道路混雑度合いの推移について		
イ	道路混雑による県民の経済損失は幾らと推定しているのか。		
ウ	過去5年間のレンタカーの使用台数の推移と観光客1000万人誘致の実現後のレンタカー利用台数の推移。		
エ	混雑解消に向けた道路整備は実現されるのか。		

- 4 消費行政について
 - (1) 原油高騰について、ガソリンの価格は、昨年の価格と比べて幾ら値上がりしたのか。県民負担の総額についても伺う。
- 5 公共交通政策について
 - (1) 鉄軌道の導入について
 - ア 交通混雑解消、環境負荷を和らげ、県民生活を考えると新型路面電車を含む鉄軌道の導入を進める考えはないか。
- 6 漁業支援について
 - (1) 原油高騰につき漁船の操業に大きな負担となっているが、何らかの支援を行うべきではないか。見解を問う。
- 7 運輸行政について
 - (1) 有村産業の更正手続廃止決定について
 - ア 航路継続や新会社への支援についての県の見解を問う。
 - イ 県の琉球海運への出資目的は何か。出資に関して県の関与について伺う。
- 8 戦後補償について
 - (1) 旧軍飛行場用地問題解決について
 - ア 地主会から提案された事業案を県はどのように受けとめているのか。
 - イ 提案を受けて県は国にどのような要求をしようとするのか。

代表質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月04日(金)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
4	15分	新垣 清涼(社大・ニライ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1 知事の政治姿勢について			
(1) 県議選挙の結果について			
ア 知事は県議選挙が行われる前に「県議選挙の結果は知事の県政運営に対する評価と受けとる」と発言されました。今回の選挙結果をどのように受けとめているか。			
イ 少数与党となったことは知事の行政運営のどこに原因があると考えるか。			
(2) 日米地位協定の抜本的改定に向けて			
ア 日常的に起こっている米軍関係者による事件・事故等について知事の所見を伺う。			
イ 米軍は事件・事故を起こすたびに「綱紀粛正に取り組む」と何度も言ってきた。その効果について知事の評価はどうか。教育プログラムはあるのか。			
ウ 6月28日午前5時過ぎに宜野湾市の民家に在沖米海兵隊軍属のポール・フランシス・ストーン容疑者が家宅侵入罪で宜野湾署に逮捕された。県は米軍属の基地外での居住人数は市町村ごとに字別に把握すべきだと考えるが、どうか。			
エ 知事は日米地位協定をどのように改定すべきだと考えているのか。その要求はどこにどのようになされているのか。			
(3) 後期高齢者医療制度について			
ア さきに行われた県議選挙で後期高齢者医療制度の廃止については、多くの県民の要求の声があった。沖縄県は特にその影響が大きいと聞いている。他府県と比べてどのようになっているか。			
イ 県民の暮らしを守る立場の知事として廃止の要求をすべきだと考えるが、どうか。			
(4) 道州制の問題について			
ア 道州制への移行は政府決定がなされたのか。			
イ 現在の都道府県制度はなぜだめなのか、道州制になると何がどう変わるのか。			
ウ 単独州の場合と他県と併合された場合とではどんなメリット・デメリットが予想されるのか。			
2 基地行政について			
(1) 普天間基地について			
ア 普天間基地の危険性除去について、どのような取り組みがなされているか。普天間基地は米軍が作成した基地の安全基準に違反している。「普天間基地マスタープラン」のクリアゾーン(土地利用禁止区域)の中に普天間第二小学校や新城児童センターなどがある。子供たちの安全のために知事はどのような取り組みをしているか。いつまでこのまま放置するのか。			
イ 普天間基地からの爆音被害をなくす訴訟裁判の判決が6月26日に出た。その結果について、知事の所見を伺う。			
ウ 普天間基地からの爆音や低周波被害調査はどのように行われているか。その被害を解消するためにどのような取り組みがなされているか。			

- (2) 辺野古新基地建設について
- ア 辺野古への新基地建設は県民の合意が得られてないと思うが知事の見解はどうか。
 - イ 国と県、沖合移動で実務協議というマスコミ報道があるが、どのようなことが決まったのか。
- (3) 高江のヘリパッド建設について
- ア ヘリパッド建設の及ぼすヤンバルクイナやノグチゲラなどの世界的希少種への影響をどのように考えているか。
 - イ 県は、ヘリパッドが東村高江を囲むように建設されること、またヘリパッド完成後は伊江島や辺野古と連動した訓練に利用されることに対しどのような認識を持っているか。
- (4) 嘉手納基地の爆音被害について
- ア 夜間・早朝の飛行を回避すべきだと考えるが、知事の見解を伺いたい。
- 3 教育行政について
- (1) 30人学級の実施について
- ア 30人学級の実施状況と今後の計画について説明を求める。
- (2) 平和教育について
- ア 宜野湾市の志真志小学校で「集団自決」を題材にした創作劇の上演に対して、抗議や中止を求める電話等があったようですが、知事と教育長の見解を伺いたい。
 - イ 沖縄戦の状況は真実をしっかりと次の世代に伝えるべきだと考える。知事と教育長の見解を伺いたい。
- 4 環境行政について
- (1) ごみ問題について
- ア 産業廃棄物量の近年の現状と今後の減量化計画について説明を求める。
 - イ 廃棄物不法投棄の現状とその対策について
- (2) 地球温暖化対策について
- ア 県として現在の取り組みはどのようなことが行われているか。
 - イ 今後の取り組みとしてどのようなことが計画されているか。
 - ウ 県民運動としてどのような計画があるか。
- 5 観光行政について
- (1) 観光客1000万人達成の県民生活への影響について伺いたい。
- ア 雇用問題や経済的影響はどのようになるか。
 - イ ごみの量や水の需要などはどのようになるのか、その対策は検討されているか。